



## 【講師用資料】

## 情報セキュリティとは？

## 【1ページ】

コンプライアンス研修用資料

1



## 情報漏洩

## 情報セキュリティとは？

## 【研修について】

- ・本研修の目安時間は、15分間です。
- ・講師の指示に従って、本資料を読み進めてください。  
(勝手に本資料を読み進めないでください。)

## 進行シナリオ

## 1 タイトルと研修の注意事項(以下)を話す。

本日は、「情報セキュリティ」について、研修を行います。  
研修の時間は15分程度ですので、学習したことをしっかり覚えるようにしてください。  
また、お配りした資料は、私の指示に従って、めくってください。勝手にめくって読み進めないようにお願いします。  
では、資料を1枚めくって、2ページを見てください。

## 2 資料を一枚めくる。(2ページに移る)

【本研修の目的】

- ・ 隣の人や、後ろの人と意見交換をしながら、学ぶことを目的としています。積極的に発言しましょう。

## 進行シナリオ

### 1 研修の目的(以下)を話す。

この研修は、両隣や後ろの人と意見を交換しながら進めていきます。研修中には、いくつかの質問があります。正解・間違いは問いませんので、周りの人と積極的に意見交換してください。  
では、3ページに移ってください。

### 2 3ページに移る。

情報セキュリティとは？

3

## 情報セキュリティとは？

私たちは、様々な情報を使って日々の業務にあたっています。それらの情報には、機密情報、社外秘情報、営業秘密、個人情報などがあり、紛失・漏洩しないように、正しい管理・取り扱いが求められます。

また、それらの情報を守ることは「情報セキュリティ」と呼ばれ、私たちが業務を行う上で必須のこととなっていますが、そもそも、なぜ情報を守る必要があるのでしょうか。

### なぜ情報を守る？



Q1

何のために情報を守らなければならないのでしょうか？

意見がなかなか出ない場合は、「情報を守り、安全を担保した上でどうしますか？」など、発言をしやすい問いかけを行ってください。

## 進行シナリオ

### 1 シーンを話し、1つ目の問題を出す。(以下を話す)

情報セキュリティとは？

私たちは、様々な情報を使って日々の業務にあたっています。それらの情報には、機密情報、社外秘情報、営業秘密、個人情報などがあり、紛失・漏洩しないように、正しい管理・取り扱いが求められます。

また、それらの情報を守ることは「情報セキュリティ」と呼ばれ、私たちが業務を行う上で必須のこととなっていますが、そもそも、なぜ情報を守る必要があるのでしょうか。

では、皆さんに1つ目の質問をします。

「何のために情報を守らなければならないのでしょうか？」

1分程度で、周りの人と意見を出しあってください。それでは始めてください。

### 2 1分程度待ち、以下を話す。(1名に発表してもらう。)

いろいろな意見が出たようですね。

では、〇〇さん、何のために情報を守らなければならないのかを発表してください。

### 3 発表を聞いて、以下を話す。

ありがとうございました。では、資料を1枚めくって、4ページで解答を確認しましょう。

### 4 資料を一枚めくる。(4ページに移る)

情報セキュリティとは？ 4

A  
1 情報を「有効活用」するために守る



「安全」が担保されていなければ、安心して情報を「活用」することはできません。安全が担保されていない場合、情報漏洩・流出といった事故を引き起こし、会社や取引先、消費者といった多くの関係者に多大な迷惑をかける結果となります。

一方で、情報を有効に活用できないほど、情報セキュリティ(安全)を強化することは、本末転倒です。「情報セキュリティ」は、「安全」と「活用」のバランスが大切です。

## 進行シナリオ

### 1 解答を話す。(以下を話す)

情報を有効活用するために、情報セキュリティで守ります。

業務を行う上では、情報の有効活用が必要ですが、そのためには、情報の安全が担保されていなければなりません。安全が担保されていない場合、情報漏洩・流出といった事故を引き起こし、会社や取引先、消費者といった多くの関係者に多大な迷惑をかける結果となります。

一方で、情報を有効に活用できないほど、情報セキュリティ(安全)を強化することは、本末転倒です。「情報セキュリティ」は、「安全」と「活用」のバランスが大切です。

では、5ページに移ってください。

### 2 5ページに移る。

## Q2

では、情報の安全を脅かす行為や  
状態には、どのようなものがある  
のでしょうか？

※ 第三者がいる場所、移動時、社内勤務時、  
離席中など、様々なケースで考えてみましょう。

意見がなかなか出ない場合は、「情報を社外に持ち出す  
際は、どんなことに気を付けますか？」など、発言をしやす  
い問いかけを行ってください。

## 進行シナリオ

## 1 2つ目の問題を出す。（以下を話す）

では、皆さんに2つ目の質問をします。

「情報の安全を脅かす行為や状態には、どのようなものがあるでしょうか？ 第三者がいる場所、移動時、社内勤務時、離席中など、様々なケースで考えてみましょう。」

先ほどと同じように、30秒程度で、周りの人と意見を出しあってください。それでは始めてください。

## 2 30秒程度待ち、以下を話す。（1名に発表してもらう）

いろいろな意見が出たようですね。

では、〇〇さん、情報の安全を脅かす行為や状態には、どのようなものがあるかを発表してください。

## 3 発表を聞いて、以下を話す。


ありがとうございました。では、資料を1枚めくって、6ページで解答を確認してみましょう。

## 4 資料を一枚めくる。（6ページに移る）

情報セキュリティとは？ 6

**A**  
**2 次のような行為・状態が考えられます**

- 電車内で鞆ごと情報を置き引きされる／USBメモリなどの記録媒体を紛失する
- 第三者のいる場所で、機密情報をつい喋ってしまう
- 見積書などをメールやFAXで誤送信してしまう
- コンピュータウイルスに感染したPCをそのままにしておく
- 個人情報を本人の同意を得ずに、第三者に提供してしまう
- 社有車の中に、書類や情報端末などを放置する
- 社外秘情報を、上長の許可なく社外に持ち出す
- デスクや複合機の周りに情報書類を放置する（無防備の状態にする）



## 進行シナリオ

### 1 解答を話す。（以下を話す）

電車内や社有車に情報を放置した結果、置き引きや車上荒らしに遭ってしまうことが考えられます。

また、メールやFAXを誤送信してしまうケースや、第三者のいる場所で情報を喋ってしまうケース、情報を盗み見されてしまうケースも考えられます。クリアデスクの不徹底で、機密情報などが掲載された書類を紛失してしまうケースもあるでしょう。

このように、情報の安全を脅かす行為や状態は、特別なものではなく、日々の業務の中に潜んでいるといえます。「少しの油断」や「気の緩み」は、これらの行為や状態につながってしまいます。

では、7ページに移ってください。

### 2 7ページに移る。

Q3

情報セキュリティを疎かにして、  
情報漏洩・紛失などの事故を  
起こしてしまった場合、  
個人や会社はどのような処分・  
ダメージを受けることにな  
るのでしょうか？

意見がなかなか出ない場合は、「例えば、個人情報をも漏洩した場合は、どうなりますか？」など、発言をしやすい問いかけを行ってください。

## 進行シナリオ

### 1 3つ目の問題を出す。(以下を話す)

続いて、皆さんに3つ目の質問をします。  
「情報セキュリティを疎かにして、情報漏洩・紛失などの事故を起こしてしまった場合、個人や会社はどのような処分・ダメージを受けることになるでしょうか？」  
30秒程度で、考えてみてください。


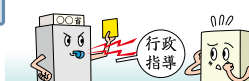

### 2 30秒程度待ち、以下を話す。

ありがとうございました。では、資料を1枚めくって、8ページで解答を確認してみましょう。

### 3 資料を一枚めくる。(8ページに移る)

情報セキュリティとは？ 8

**A 3 次のような処分やダメージを受けます**

個人	会社
<b>懲戒処分</b> 	<b>行政指導</b> 
<b>取引先への謝罪</b> 	<b>企業イメージの低下／ 取引先・消費者への謝罪／関係悪化</b> 

事情によっては、取引先などから「損害賠償」を請求される可能性があります。  
 ※個人の場合は、不法行為・不正競争防止法などに基づく損害賠償  
 ※会社の場合は、不法行為・使用者責任・守秘義務違反などに基づく損害賠償

## 進行シナリオ

### 1 個人の場合の解答を話す。(以下を話す)

当社の情報管理規程では「情報セキュリティ」のルールが定められています。情報漏洩が起きた場合は、不注意だったとしても、規程違反として懲戒処分を受ける場合があります。

また、取引先に迷惑をかける事態となった場合は、取引先への謝罪も必要となり、漏洩させた情報の種類によっては、取引先から損害賠償を請求される可能性もあります。

### 2 会社の場合の解答を話す。(以下を話す)

漏洩した情報の種類にもよりますが、会社は監督省庁から行政指導を受ける可能性があります。

また、新聞報道などで情報漏洩の事実が公表され、企業イメージの低下や取引先・消費者への謝罪などが必要になります。

個人情報情報を漏洩させた場合は、情報主体(情報の持ち主)への謝罪・賠償も必要となります。

機密性の高い情報などを漏洩した場合は、取引先から損害賠償を請求される可能性もあります。

では、9ページに移ってください。

### 3 9ページに移る。



Q4

では、情報の紛失や漏洩を防ぎ、  
安全を担保するためには、  
個人としてどのように情報を  
取り扱うべきですか？

意見がなかなか出ない場合は、「置き引きや車上荒らしの被害に遭わないためには、どうすべきですか？」など、発言をしやすい問いかけを行ってください。

## 進行シナリオ

### 1 4つ目の問題を出す。(以下を話す)

では、皆さんに最後の質問をします。  
8ページのような結末にならないために、  
「情報の紛失や漏洩を防ぎ、安全を担保するためには、個人としてどのように  
情報を取り扱うべきですか？」  
30秒程度で、考えてみてください。周りの人と意見を出しあってもかまいません。  
それでは始めてください。

### 2 30秒程度待ち、以下を話す。(1名に発表してもらう)

いろいろな意見が出たようですね。  
では、〇〇さん、個人としてどのように情報を取り扱うべきかを発表してください。

### 3 発表を聞いて、以下を話す。

ありがとうございました。では、資料を1枚めくって、10ページで解答を確認して  
みましょう。

### 4 資料を一枚めくる。(10ページに移る)

## 進行シナリオ

## 1 解答を話す。(以下を話す)

情報を持ち歩く際は、「肌身離さず」を徹底しましょう。情報を無防備な状態にすることは、情報漏洩・紛失につながります。

また、メールやFAXを送信する際は、宛先や送付内容、添付ファイルなどが正しいかを十分に確認してから送信しましょう。メールやFAXの送信はキャンセルできません。誤送信に気付いた時は、手遅れになります。

機密情報書類や機密情報が保存された媒体(USBメモリなど)の管理にも注意しましょう。カギ付きの引き出しで保管することも有効です。

## 2 まとめの言葉を話す。(以下を話す)

少しの気の緩みから情報の紛失・漏洩は起きます。

手間を惜しまずに、しっかり管理しましょう。

では、11ページに移ってください。

## 3 11ページに移る。

情報セキュリティとは？

10

A  
4

- ・情報を持ち歩く際は、「情報は自身の貴重品と同じ」という意識で「肌身離さず」を徹底する
- ・社内ルールを守った情報の取り扱いを徹底する  
(油断大敵の意識を持つ)
- ・情報の誤送信に注意する  
(宛先をよく確認する／ファイルにパスワードをかける など)
- ・物理的な対策をとる  
(デスクの引き出しにカギをかける／  
機密情報書類を雑多に管理しない など)



**少しの気の緩みから情報の紛失・漏洩は起きます。**  
**手間を惜しまずに、しっかり管理しましょう。**

情報セキュリティとは？ 11

会社と働く人たち、その家族を守るのは  
あなたのコンプライアンス行動です。

お疲れ様でした。

## 進行シナリオ

### 1 締めめの言葉を話す。(以下を話す)

会社と働く人たち、その家族を守るのは、あなたのコンプライアンス行動です。

以上で、本研修は終わりです。お疲れ様でした。